

事業番号	047
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	中心市街地活性化事業						担当部	地域活性化営業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	シティプロモーション課		
	事業期間	平成24年度			～	平成30年度以降		担当係	にぎわい創出係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 産業・交流		18 シティプロモーション		4 中心市街地を訪れる人の数を増やします				
		副目的	20-2		21-1						
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	中心市街地の活性化を目的として、魅力とにぎわいの創出に向けた事業を行う。									
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容</p> <p>○小牧駅前広場等電飾委託事業 450年記念事業「きらめく 信長 夢街道」と題し、小牧駅前広場等にイルミネーションを設置し、中心市街地の魅力と賑わいの創出を図った。 11月8日～12月25日 48日間 委託費 10,911千円</p> <p>○にぎわい広場電飾企画運営委託事業 ・イルミネーション事業を地域の商店街、市民団体等と連携して実施することにより、商店街と密着した事業とするべく、にぎわい広場における電飾の企画運営を小牧にぎわい隊に委託実施した。 イルミネーションコンクールの開催 募集9団体 委託費 1,363千円</p> <p>○中心市街地にぎわい創出事業費補助事業 ・中心市街地の魅力とにぎわいの創出を目指して結成した小牧にぎわい隊の行うにぎわい創出事業への補助。補助金 6,381千円</p> <p>○中心市街地空き店舗実態調査委託事業 ・中心市街地の活性化に向け、小牧駅周辺の空き店舗や低未利用地の活用が課題となっている。そのため、土地・建物所有者の意向等を把握することを目的に実態調査を実施した。委託費 1,134千円</p> <p>○中心市街地空き店舗対策事業費補助事業 ・中心市街地の空き店舗へやる気のある店主の出店を促すため、空き店舗の改装費、家賃の一部を補助した。改装費2分の1 上限100万円 家賃2分の1 上限5万円(12ヶ月を限度) 4件 2,375千円 その他の経費 93千円</p> <p>◎平成26年度直接経費の内訳 ・小牧駅前広場等電飾委託 13,900千円 ・中心市街地にぎわい創出事業 9,800千円 ・中心市街地空き店舗対策事業費補助金 3,200千円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	6,653	21,182	22,257	27,137	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	1.00	1.00
			人件費	千円	1,578	1,578	5,260	5,260
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	8,231	22,760	27,517	32,397	
	対前年比	%		276.5	120.9	117.7		
財源	一般財源	千円	6,568	22,760	26,383	32,397		
	国・県支出金	千円	1,663	0	1,134	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	小牧にぎわい隊にぎわい創出事業の事業件数	件	目標	7	8	7
実績				9	7	8	
業	空き店舗対策事業補助金申請件数	件	目標	1	2	3	3
			実績	1	4	4	
績	成果指標名	単位	目標				
			実績				
業	空き店舗入店	件	目標	1	2	2	2
			実績	1	3	2	
績	中心市街地に魅力を感じる市民の割合	%	目標	-	-	30	30
			実績	19.3	30.0	28.0	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	中心市街地の魅力とにぎわい創出に向け、小牧にぎわい隊の活動について事業費補助を行うとともに運営をサポートした。特に、「小牧山城見市」、「小牧バル」については小牧山城築城450年記念事業の連携事業として多くのにぎわいを創出することができた。また、イルミネーションについても小牧山城築城450年記念事業の連携事業「きらめく信長 夢街道」と題して実施した。空き店舗対策事業費補助金については目標件数である2店舗が出店した。空き店舗実態調査委託事業については土地・建物所有者の意向等を把握することを目的に実態調査を実施した。				
	事業実施における課題	中心市街地の活性化には、そこに住む人、商店をしている人が主体的に関わる必要があり、いかにその人達を巻き込んでいかが課題である。					
	事業を縮小・廃止したときの影響	中心市街地の活性化は、本市の魅力向上と活力創造に向けて必要な事業であり、関係者の理解と協力を得るには、小牧にぎわい隊を中心に地道な活動が必要であり、事業を廃止した場合、その活動が停滞、縮小、もしくは中止してしまう恐れがある。					
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	空き店舗実態調査の結果を、今後の中心市街地の活性化に向けた検討材料として活用していく。 にぎわい隊の活動として、小牧城見市を年2回駅前線で実施する。(7、8、1、2月は実施しない。) イルミネーションコンクールは廃止。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	中心市街地の活性化に向け、小牧にぎわい隊が今後の中心市街地のまちづくりの中心推進団体になるよう、商店街、商店主と連携を図れるようサポートする。					
	27年度以降の改善案	新図書館建設の状況も見ながら、今後の取り組み方法の検討をすすめる。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。